



高校生の豊かな想像力たたえる

第13回全国高校生童話大賞表彰式が12月22日、なほんプラザで行われました。心に残る多くの童話を残した宮沢賢治にちなんで、高校生に童話という夢のある自由な表現の場を提供しようと同催された同大賞。個性豊かな939編の応募作品の中から、金の星賞(大賞)1人、銀の星賞(優秀賞)3人、銅賞(佳作)7人が選ばれました。本市からは、花巻北高校2年生の小田島夕花さんが2年連続となる銅賞を受賞。豊かな想像力とみずみずしい感性がたたえられ、表彰盾と記念品が授与されました。



銅賞を受賞し、表彰盾などが授与された小田島夕花さん(中央)。表彰式には関係者など約100人が参加しました

賢治作品の魅力語る

宮沢賢治没後80年行事「世界における宮沢賢治」シンポジウムは12月1日、文化会館で開かれました。当日は、賢治ファンなど約600人が来場。賢治に造詣が深く、文学や映画など幅広く活動するロジャー・パールバスさんによる基調講演や国内外の賢治研究者によるパネルディスカッションなどを通して、賢治作品に込められた思いを感じ、理解を深めました。この他、音楽や舞、賢治作品の朗読や合唱も披露され来場者を楽しませました。



パールバスさん(左)の進行で行われたパネルディスカッションの様子

遊びでクリスマスを楽しく

クリスマス交流会「まなび学園」が12月21日、まなび学園で開催されました。当日は、市内の小学生のほか、花巻東高校の生徒などが参加。クリスマス工作体験では、ドーナツ型の緑色の台紙にリボンや松ぼっくりなどを思い思いに飾り付け、色鮮やかなリースを完成させました。また、じゃんけんで点数を競うヒューマンサッカーや、まなび学園をいっぱい使ったかくれんぼなどの遊びを高校生が企画。小学生の皆さんは、おにいさんやおねえさんと一緒に楽しい時間を過ごしました。



小学生の皆さんは、高校生のおにいさんやおねえさんと一緒にクリスマスリース作りに取り組みました

制作体験通じて三世代交流

生涯学習講座「世代間交流しめ縄&フラワーアレンジメントづくり教室」が12月22日、成島振興センターで開かれました。このうち、しめ縄作りには、地元の児童と保護者約30人が参加。北成島老人クラブの皆さんから作り方を教わりながら、コンブやニボシ、松の枝などを添えた地域伝統の正月飾りを完成させました。参加した川村真鈴さん(東和小2年)は完成したしめ縄を手に、「おじいちゃん、おばあちゃんの家にも飾りたい」と満足そうに話していました。



教わりながら縄をなう作業に挑戦する児童。しめ縄作りを通して、世代間の交流を深めました

子どもたちが大活躍・花巻志道会・花巻ACジュニア・花巻リトルシニア

各種スポーツ大会で優秀な成績を収めるなど大活躍の子どもたちが、市役所を訪れ市長に喜びの報告をしました。12月12日、市長を訪問したのは、第35回県少年空手道選手権大会の小学生の部で総合優勝に輝いた花巻志道会の皆さんです。報告に訪れた選手24人を代表して5人の皆さんが、大会の感想や今後の抱負を述べたほか、女子形競技の小学1年生の部で優勝した小瀬川雅さん(若葉小)は、市長の前で演舞を披露しました。



花巻志道会の皆さん



花巻ACジュニアの皆さん



東北選抜に選ばれた花巻リトルシニアの選手

同26日には、リトルシニア東北選抜チームに選ばれた、花巻リトルシニアの斉藤駿助さん(花巻北中2年)と八重樫大希さん(江釣子中2年)が市役所を訪れました。台湾で開かれる第11回日台国際野球大会に出場する2人は「花巻リトルシニアの代表として頑張りたい」「良い経験になると思う。自分の力を試したい」と決意を表明。選抜チームでの活躍を誓いました。

リリーレィ研修大会のチーム対抗クロスカントリリーレィの部で、県勢初となる8位入賞を果たし、個人競技の友好トライアルでも2人の選手が優勝と6位という快挙を達成。選手たちは「チームが入賞できて本当にうれしかった」など喜びいっぱい大会を振り返りました。